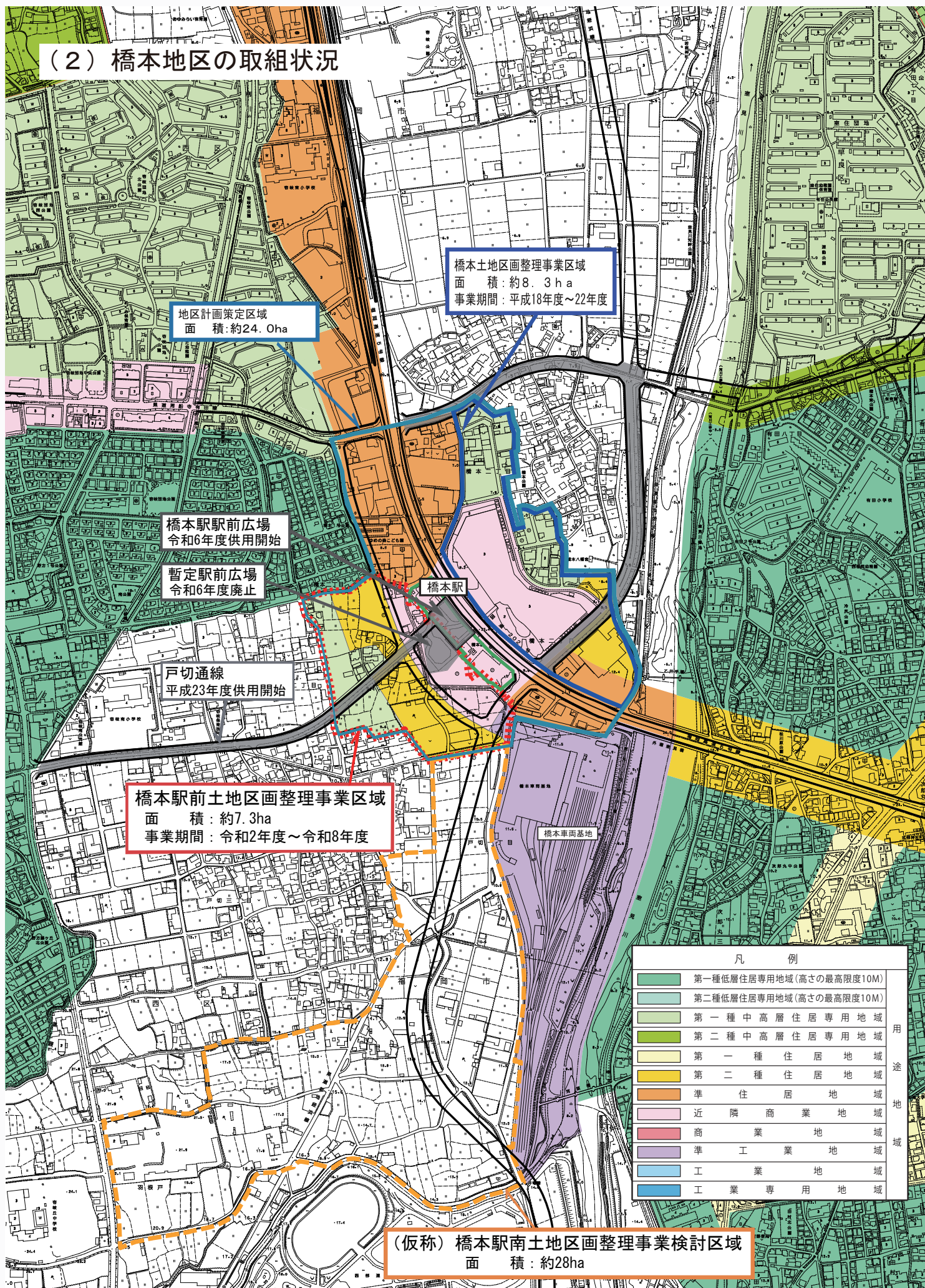


(2) 橋本地区の取組状況



(2) 橋本地区の取組状況

橋本地区

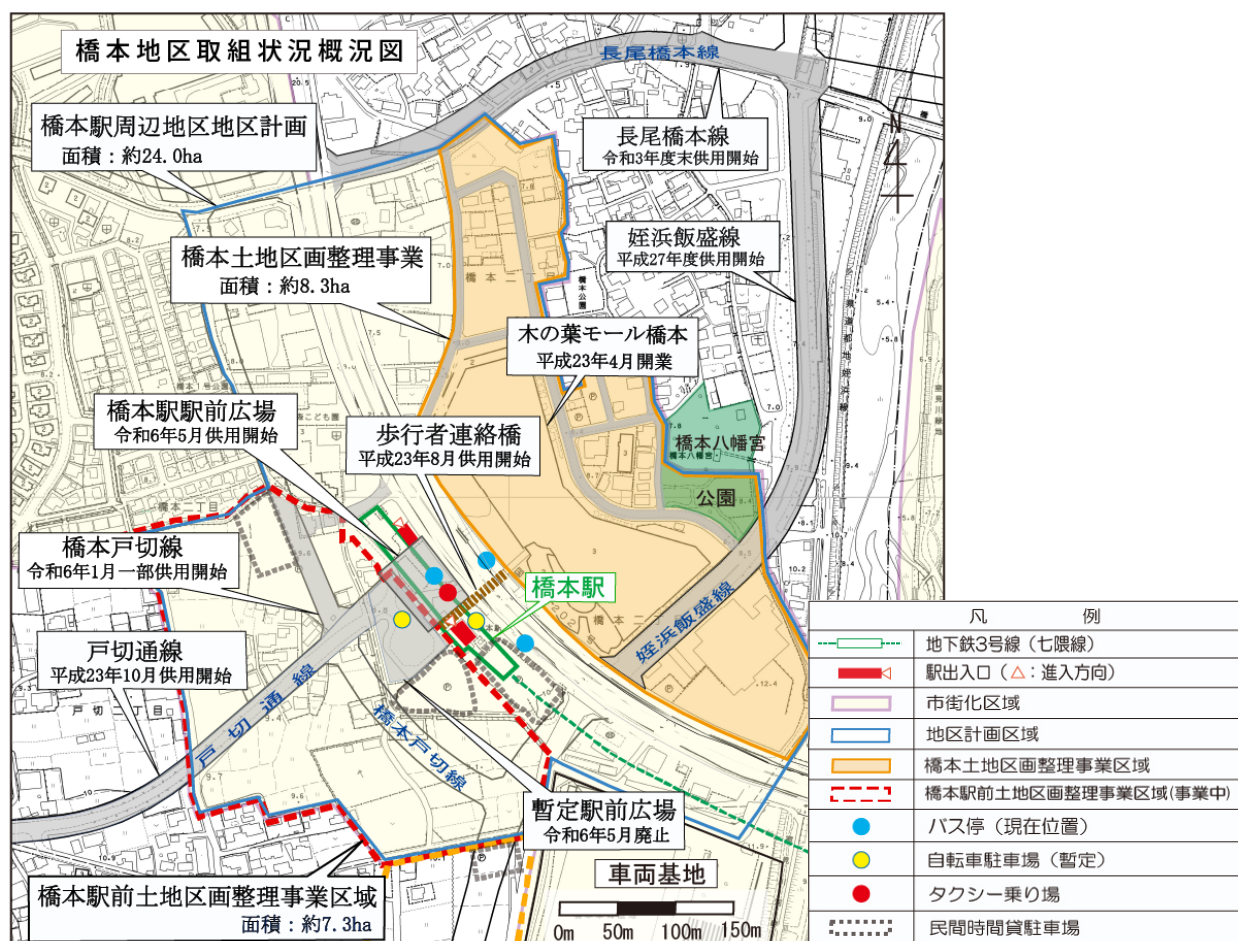
地下鉄3号線の起点となる橋本駅周辺において、拠点性を持つ市街地形成を図るため、交通結節機能の強化と合わせて住民と行政の共働による面的まちづくりを推進する。

橋本駅周辺のまちづくり

平成13年7月：橋本土地区画整理準備組合設立
 平成18年7月：橋本土地区画整理組合設立認可
 平成22年12月：橋本土地区画整理事業完了
 平成23年4月：木の葉モール橋本開業
 平成23年7月：橋本駅前土地区画整理準備組合設立
 平成23年8月：歩行者連絡橋供用開始
 平成23年10月：戸切通線供用開始
 平成24年4月：暫定駅前広場供用開始
 平成27年：姪浜飯盛線一部供用開始
 令和2年3月：橋本駅前土地区画整理組合設立認可
 令和6年5月：橋本駅前広場供用開始（暫定駅前広場廃止）



橋本戸切線一部供用開始（R6.1）



【生活交通】

生活交通確保に向けた地域主体の取組みが行われている。

〈橋本駅循環ミニバス等の試行運行状況〉

平成23年10月～平成24年1月（第1回）

平成25年12月～平成26年9月（第2回）

平成27年12月～令和2年5月（第3回）

〈壱岐南のるーとの実証運行状況〉

令和2年6月～※運行継続中（第4回）

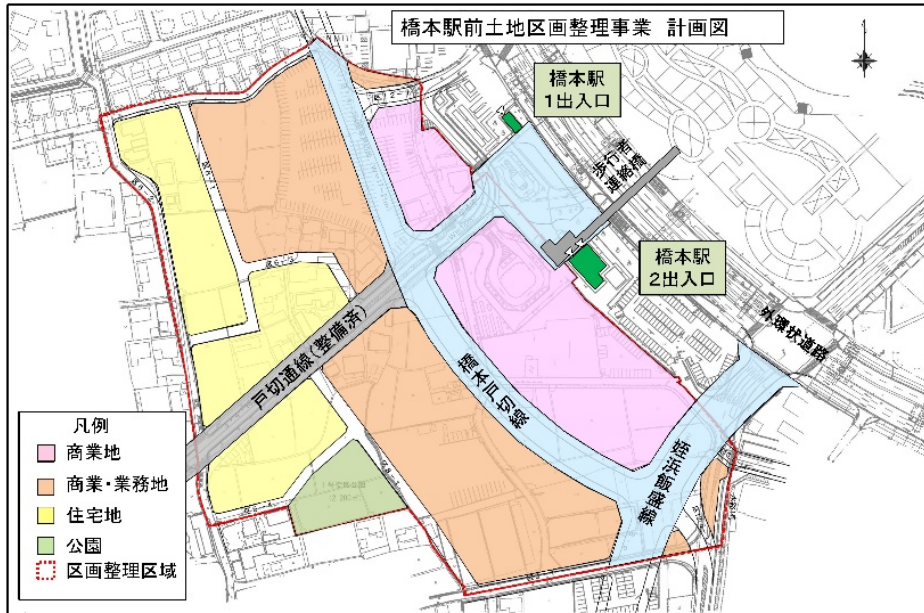


「壱岐南のるーと」実証運行

橋本駅前土地区画整理事業について

1) 事業概要

- ・面積：約7.3ha
- ・施行主体：組合
- ・事業期間：令和2年度～令和8年度末
- ・地権者数：49名（令和6年9月末現在）



2) 事業計画

【土地利用】

- ・地域拠点にふさわしいまちづくりを行うため、駅に隣接する街区に商業やサービス機能等を誘導し、地区の西側に良好な住環境の形成を図る。

【交通】

- ・土地区画整理事業区域内における未整備の都市計画施設（橋本戸切線、戸切通線（一部整備済み）、姫浜飯盛線）の整備を行う。
- ・周辺の民間施設を活用したパークアンドライドなどに取り組む。

3) スケジュール

- ・令和2年3月 都市計画決定、市街化区域編入決定告示、土地区画整理組合設立認可
- ・令和2年10月 事業計画認可
- ・令和4年2月 仮換地指定
- ・令和4年7月 工事着手
- ・令和6年1月 橋本戸切線一部供用開始

橋本駅駅前広場の整備について

事業概要

- ・面積：約3,500㎡
- ・施行主体：福岡市
- ・施設：路線バスの乗降場に加え、新たにオンデマンドバス「壱岐南のる-と」専用の乗降場を設置するとともに、一般車及びタクシー乗降場を設置した。また、歩行者動線を明確にし、わかりやすい案内サインを設置するなど「認知症の人にもやさしいデザイン」を導入している。



橋本駅駅前広場

(3) 3号線沿線の建築や人口等の動向

① 3号線沿線¹の建物の建築動向 [各駅周辺における建築確認申請件数]

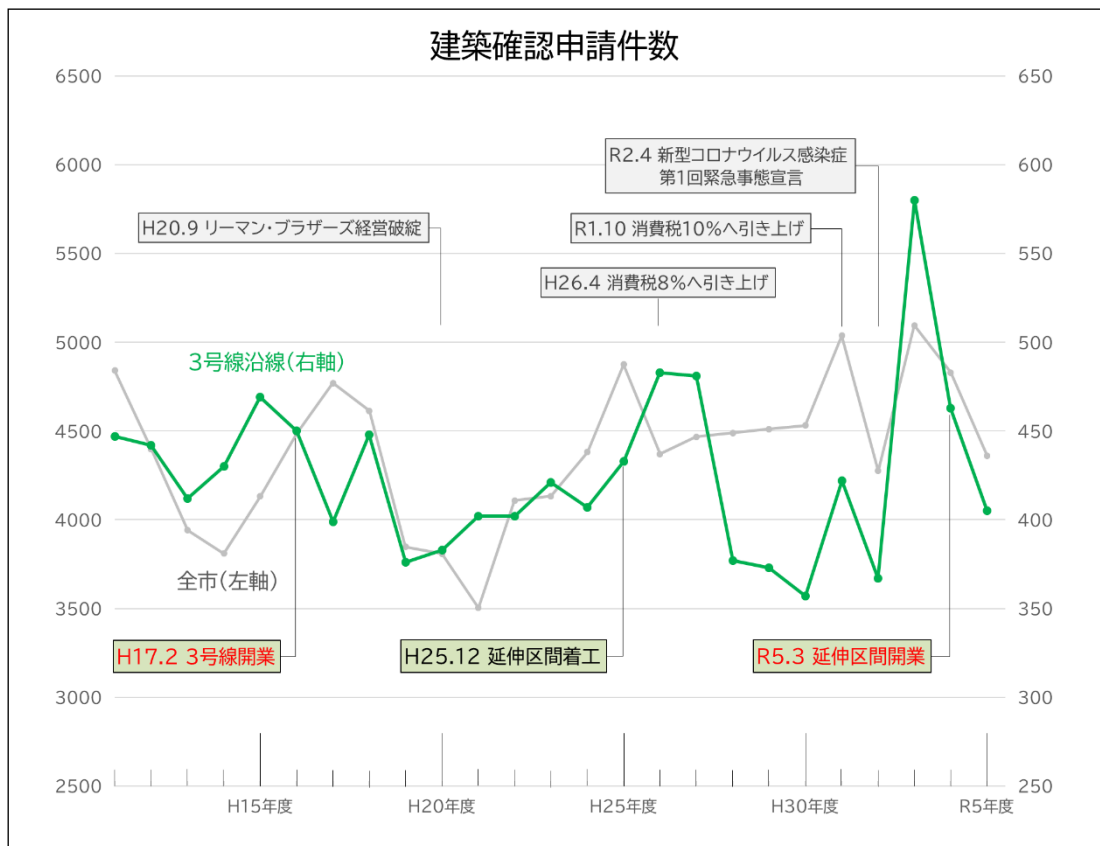
■ 3号線開業以前

平成 13 年度から 15 年度にかけて件数が増加している。これは平成 17 年 2 月の 3 号線開業をにらみ、特に天神南駅周辺で事務所や店舗等の建築が進むとともに、薬院大通駅から渡辺通駅の間で共同住宅の建築が進んだことが主な要因となっている。

■ 3号線開業以降

開業後の平成 18 年度に件数の増加が見られた後、平成 19、20 年度に一時件数が減少したが、その後は増加傾向に転じている。平成 26、27 年度に最初のピークを迎えているが、これは特に六本松駅や渡辺通駅周辺で共同住宅の建築が進んだことなどが主な要因となっている。

また、令和 3、4 年度には大きく件数が増加しているが、これは令和 5 年 3 月の延伸開業をにらみ、七隈駅から茶山駅の間を中心に戸建住宅の建築が進んだことが主な要因となっている。



② 3号線沿線の人口動向 [H16.10～R6.9]

3号線の各駅周辺における居住人口²については、路線全体として3号線開業後は概ね1%ずつ伸びており、平成16年10月と令和6年9月を比較すると約1.2倍に増加している。

特に、共同住宅の建築が進んだ六本松駅、薬院大通駅、薬院駅、渡辺通駅の周辺においては、1.3倍以上の大きな伸びとなっている。

③開発推進地区における従業者数の動向

駅周辺の一体的な開発を推進し、都市機能更新等を重点的に進めることとしている開発推進地区³の各駅周辺における従業者数⁴について、平成16年と令和3年を比較すると全体として1.33倍に増加している（市全体は1.24倍）。

開発推進地区すべての駅において全市の伸びを上回っているが、特に、土地区画整理事業が行われ、病院やホテル、大型商業施設等が立地した橋本駅や渡辺通駅の周辺においては、1.5倍以上の大きな伸びとなっている。

-
- 1) 橋本駅から天神南駅の各駅から半径500mにかかる町丁字が対象区域。
 - 2) 住民基本台帳を基に算出。
 - 3) 開発推進地区には橋本駅、野芥駅、六本松駅、薬院駅、渡辺通駅、天神南駅を位置付け。
 - 4) H16は事業所・企業統計調査、R3は経済センサス-活動調査の結果を基に算出。